

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年7月11日

評価対象年度：平成19年度				管理	1-5-2-6
事務事業名 家庭教育支援事業				部等名	教育部
予算科目	会計	科目コード	予算細目名	課等名	中央公民館
	一般	01-100502005	細々目名	係等名	社会教育担当
政策体系	基本目標	1	豊かな心と創造性あふれる人材育成のまちづくり		
	施策	5	生涯学習体制の充実と施設の整備充実		
	基本事業名	2	生涯学習機会・活動の充実		

事業概要 実施内容	子どもを持つ親等を対象に家庭教育の大切さについて学習する教室を開催する。 参加者募集 プログラム作成 学習会運営				
根拠法令等	なし	事業の種類	<input type="checkbox"/> 維持管理事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他事業 <input type="checkbox"/> 事前評価 <input checked="" type="checkbox"/> 事後評価		

重点事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 重点事業	事業実施期間	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度 ~ 年度)			
決算額	1 報酬	円	11 消耗品費	34,518 円	15 工事請負費	円
	7 賃金	円	12 役務費	円	18 備品購入費	円
	8 報償費	284,300 円	13 委託料	円	19 負担金補助及び交付金	円
	9 旅費	円	14 使用料及び手数料	円	合計	318,818 円

1. 事務事業の現状把握 (Do)

(1) 事務事業の目的と手段

対象 (誰を、何を)		子どもを持つ親等	
手段 (事業の具体的な内容、手順等)		活動指標名・式 (アウトプット) 活動の大きさを表す指標 ひなげし学級・家庭教育学級 幼児・児童を持つ母親を対象に開催する。 子育て講座 子どもの保護者を対象に開催する。	
意図 (対象を、どのような状態にしたいのか)		成果指標名・式 (アウトカム) 意図の達成度を表す指標 家庭教育の重要性を認識し、家庭の教育力の向上を図る。	
事務事業を実施 (意図を実現) することで、施策にどのように貢献していますか きめ細やかな家庭教育支援を行うことにより、地域全体での家庭教育支援に貢献することができる。			

(2) 指標・総事業費の推移

区分	単位	年度 (実績)	年度 (実績)	18年度 (実績)	19年度 (実績)	20年度 (見込み)	年度 (最終目標)
指標	活動指標 (1)	講座			18	17	
	活動指標 (2)	人			1948	2000	
	成果指標 (1)	%			62.2	65	
	成果指標 (2)						
投入量	事業費	国・県支出金	千円				
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円			319	347
	事業費計 (A)	千円			319	347	
	職員数	人			0.1	0.1	
	人件費	千円			8,373	8,373	
人件費計 (B)	千円			837	837		
総事業費 (A+B)	千円			1,156	1,184		

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

、事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか?
核家族化・少子高齢化が進んでいる。
この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?
特になし

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
家庭教育に関する知識を学ぶことにより、家庭の教育力の向上に貢献している。	家庭における教育力の向上を図るため、市の関与は必要である。	子どもを持つ親を支援することであり、対象・意図は妥当である。
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
市民のニーズを的確に把握できれば、受講者が増える余地はあると思われる。	子どもを持つ親の支援であり、中止や廃止することはできない。	類似事業はない。
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
講師謝礼や消耗品費等であり、削減余地はほとんどない。	係員数も決まっているなかで事業を行っているため、削減余地はない。	受講に要する経費は、実費負担である。

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	市民の多様化する学習ニーズに応えるための講座の充実を図る。																	
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成果	向上																	
	維持																	
	低下																	
(4) 改革改善案の概要																		
市民ニーズを正確に把握し、講座内容の充実を図る。																		
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																		
講座終了時のアンケート調査の充実を図る。																		

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象

2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																	
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																		
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		コスト			削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																	
	削減	維持	増加															
成果	向上																	
	維持																	
	低下																	
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																		